

ATACの内容

本会は長年の経験により独自の技術とノウハウを有する技術者・管理者を結集し、お互いの知恵を出しあい、学習しあい、ネットワークを活用するとともに、中堅・中小企業が抱える国際化、技術開発、人材育成等の諸問題の解決を支援することにより中堅・中小企業の発展に資することを目的とする。
～ATAC規約第2条より～

ATACは上記の目的に則り、これまで15年にわたり中堅・中小企業の発展のために数々の活動を推進してきました。その主なものを挙げますと

1. コンサルティング

ATAC活動の大部分を占める業務で中堅・中小企業の抱えるさまざまなテーマについて450件以上のコンサルティング業務に携わってきました。

2. セミナー開催・講師派遣

ATACは従業員教育、経営管理、ISO関連、品質管理などのセミナーを企画・実施し好評を博しています。また、講演会・研修会などへの講師派遣も行っています。

3. 書籍刊行

中堅・中小企業の発展に役立つため、これまで刊行した書籍は下記の通りです。

- ATACの経営便利帳
- 現場の課題解決はこうする(中堅・中小企業の業務改善事例)
- 中堅・中小企業へのATAC提言集
 - ①新商品開発のヒント
 - ②ISO9000認証取得の手引き
 - ③ISO14001認証取得の手引き
 - ④中小企業のためのIT
 - ⑤材料選択の手引き
 - ⑥設計を考える
- 目からウロコのアドバイス ～中小企業経営者への提言～

4. NASCA(産学連携のお手伝い)

企業の技術ニーズをお預かりして、最適な技術シーズを持つ大学や研究機関などを探し、ご紹介する業務です。

5. 公的支援情報送信サービス

ご希望の企業に、国や府県等による研究開発補助金等の公的支援募集情報をタイムリーに分かりやすくe-mailやFAXで無料配信する業務です。

新たに公的支援情報送信サービスをご希望の企業の方は下記の申込書にご記入の上、FAX (06-6443-5319) でお申し込みください。

公的支援情報送信サービス新規申込書

企業名
所在地
担当者
TEL
FAX
E-mail
公的支援情報送信先(どちらかに✓してください)
<input type="checkbox"/> FAX / <input type="checkbox"/> E-mail

書評

「不都合な真実」

アル・ゴア著、枝廣淳子訳、2007年、ランダムハウス講談社刊、¥2,800

大気中の炭酸ガスの濃度が1958年以来50年間にわたって315ppmから380ppmへと次第に増加しているグラフが示されている。その増加は単調ではなくて、のこぎりの刃状に増減を繰り返しながら上がって行く。のこぎりの刃一つは地球の年1回の呼吸である。陸地(樹木)の多い北半球の夏に樹木で炭酸ガスが吸収され、北半球の冬に葉が落ちて炭酸ガスを吐き出す。

この驚異のグラフはゴア氏の恩師ロジャー・レヴェル博士が1958年以来ハワイ島の高峰マウナロア山の山頂から若い研究者キーリングに毎日気球を揚げて空気を採取させて分析した値である。地球温暖化の元凶はこの炭酸ガスの増加である。氷河の消滅による水源の枯渇、南極の氷の融解と海面の上昇、海水温度の上昇によるハリケーン等の多発、炭酸ガス吸収による海水酸性化とさんごの死滅・海洋生物の減少、日照りによる陸地の砂漠化と食料の減少など、その予兆を示す説得力のある写真が載せられている。

ゴア氏は1960年代半ばに数年分のこのグラフに接し、以来地球温暖化防止に関心を持った。クリントン政権の副大統領として京都議定書にも関与し、2001年の大統領選に敗れて以来、世界各地で1000回の公演を行ってきた。この本はまたドキュメンタリー映画にもなったが、優秀な農場主で上院議員で活躍した父、13歳から喫煙を続けて肺がんで亡くなった美しい姉と、なぜ農場でタバコ栽培を止めなかったのかという後悔、車道へ飛び出して瀕死の重傷を負った当時6歳の息子の看病をしながら、人生で何が一番重要なのかを考え抜いて、家族と地球環境だと悟ったこと、ブッシュ大統領が公約では京都議定書に賛成しながら当選した直後に反対に転向したことなど、映画では余り触れられていないゴア氏の個人的なエピソードが随所に示されている点も興味深い。

地球温暖化防止のための炭酸ガス排出削減は人類一人一人にかかっている。この本は各人が何をやるべきか考えるきっかけを与えてくれる。冒頭に示した50年間の炭酸ガスの増加量が地球の10呼吸分に過ぎないことを知れば、地球救済のために何かやれると感じるはずだ。子孫の未来のために一読をお勧めする。(池田記)

